

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。

初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれる。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

親指に団栗帽子被らせて

愛知県立豊橋西高等学校

中澤 琥太郎

今月の短歌

幸せな束縛だった猫のため
海外旅行をあきらめていた

愛知県岡崎市

西村 愛美

季節は「団栗」。秋の季節である。カシヤクヌギ、ナラといった樹木の実の総称であるが、どの団栗も「殻斗」と呼ばれる丁度「帽子」のような殻を半分被っている。それらは、ちょうど老人などが被っている毛糸帽子にも似ている。一句は、たまたま「団栗」を拾った人物がその「帽子」を自分の手の「親指」に被せて遊んでいる場面を写生したものだ。もしかすると面白がって人差し指にも、中指にも、薬指にも被せたかもしれない。一つの場面が、次の場面の連想を呼ぶ。

(鳴立庵庵主 本井 英)

白と黒の斑の猫と三毛の猫を飼う働き盛りの男を知っている。彼は二匹の猫を溺愛してやまない。当然のように一泊であっても旅には出ない。察するに、自分がいないと猫達は寂しくて辛い時を過ごすに違いない、と思っているのだ。ところで、何かを「できない」、「しない」ことは辛く苦しい。その辛苦の量が愛情の量そのものである。だから「海外旅行をあきらめていた」時の愛の深さは察するに余りある。しかし、その「幸せな束縛」から「私」は解放された。猫が亡くなったのである。愛の深さはまさに悲しみの深さに他ならない。

(西行祭選者 柳 宣宏)

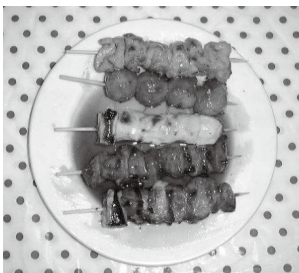
講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 申込み 締切り 問合せ 定員 対象 講師

講座名	日程	時間	備考
子供向け講座 鳴立庵の謎	8月26日(土)	10:00~11:30	「鳴立庵のミステリー3つの謎を探ってみよう」 費 大人500円・小中学生無料 定30人 対 小学3年生以上(保護者同伴)と中学生 主催 NPO法人大磯ガイド協会
寄席	8月12日(土)	開場13:00 開演13:30	演目 夏どろ・巖流島・三年目 演者 桂 三十助・柳家 お三治・三笑亭 空巢 定30人 費800円(入庵料込)
座禅	8月19日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
伝筆	8月27日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
風鈴祭	8月27日(日) まで	9:00~16:00 (終日)	西行祭の献詠入選句と令和4年度投句の展示をします。 小田原風鈴の音色と共に楽しみください。 費入庵料
茶と遊ぶ	9月2日(土)	10:00~正午	みちかぜ茶会(ご参加の皆さんでわいわいお茶を楽しむ会です) 講 高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)

「めいどいんおおいそ」登録産品紹介コーナー

ご当地登録産品



濱田畜産(株)(月京)
やきとり(肉のハマダ)



(有)パンの蔵(大磯)
おからくん



かたつむりの家(生浜)
パウンドケーキ

問 大磯町商工会 ☎(61)0871